西高だより 麦笛 Sound of Heart

山形県立酒田西高等学校
２・３月号
（通算第６３号）
平成 21 年 2 月 27 日

別れと虹と幸せと

校長　小柳秀記

「高校生活は短いが、その後の人生を大きく左右する重要な時期である。」と言われていますが、人生の方向を決定づけるほどの時期をいつ迎えるかは、必ずしも高校生の時とは限らないと思います。とは言え、十代、とりわけ高校の三年間は、体の成長と心の成長のアンバランスに戸惑うことが珍しくない多感な年頃です。また、人との出会いや様々な経験をとおし、人間的に大きく成長する時期でもあります。

ですから、最初に述べたことは、生徒に向けての言葉というよりは、むしろ、我々教員に対する戒めの言葉であるように思えてならないのです。それほどまでに大事な三年間であるならば、どのような高校生活を送らせるべきなのか。どのように信頼関係を築いていけばいいのか。学習・進路・部活動など、どのように指導すべきか。などなど。教師のあり方、そして学校のあり方を問うた言葉だと、私は受け止めています。

学校を卒業し、将来、生徒が大人になったあと、我々教師がその姿を目にすることは少ないのです。だからこそ、一人ひとりの生徒の幸せな未来をくっきりと描く力が、教師にも学校にも求められるのです。それだけの自負と力量をもって、私たちは生徒の皆さんとともに過ごしてきたつもりです。本校で学んだこと、本校で過ごした生活、様々な思い出、そういったもののすべてが一人ひとりの成長の証として、また、将来への宝として、皆さんの心に刻まれることを願ってやみません。

突然訪れる高校生の爆発的成長！

3 年次主任　佐々木正弘

変化に富んだかけがえのない高校時代。長いようであっという間だった 3 年間。粘り強くこの日まで歩みきった 3 年次生に対し、心から卒業おめでとうの気持ちを伝えたい。

ところで、長年美術部の顧問をしているが、3 年目の部員の中に突然変異に相応しい「成長」を見せる生徒がいる。入学時はデッサンのデの字もおぼつかないような生徒が、2 年後半から 3 年の前半でいきなり目を見張るような色使いや描写をいとも普通にやってのける。一切の兆候無くして突然変化する恐ろしいまでの高校生の成長力！もちろん火の無いところに煙は立たずで、そういう「爆発的成長」は、決まって普段の活動を地道に積み上げてきている生徒にのみ現れる。このような経験を味わうなかで、私は高校生という時期は、意識次第で大いに「想像以上の自分と巡り会えるとてつもないチャンス」を秘めた期間であると心の底から思わざるを得ない。

卒業を目前にした皆さん！特に 3 年次の 1 年間にわたる受験との対峙を通し、自分という器が予想以上に変化することができるということを実感した生徒も多いことだろう。求め続ける限り人は成長する。これからも地道な歩みを積み重ねていってほしい。

卒業生より

山形大学　地域教育文化学部　生活総合学科　食環境デザインコース

私が推薦を受けようと決めたのは夏休みの後半でした。親に国公立しか行かせられないと言われていたこともあり、少しでも受験の回数を増やしたいと思い挑戦することにしました。

推薦試験の内容は面接と口頭試問でした。口頭試問では専門的な事を聞かれるということで、先生に指導していただいたり、自分で本を読んで勉強したりしました。

試験までの間は辛いことが多かったのですが、先生や家族、友達の支えがあったからこそ頑張れました。とても感謝しています。

不安もありましたが、支えて下さった方々のためにも合格したいという気持ちが強かったです。皆さんも「この大学に入りたい」という強い意志をもって頑張ってください。

山形県立保健医療大学　保健医療学部　作業療法学科

推薦入試は秋ころに行われるため、周りが黙々と勉強している中、小論文や面接の練習に励まなければいけませんでした。もし推薦で合格できなかったら、センターまでの残りわずかな時間で気持ちの切り替えをし、周りとの勉強量の差を埋められるよう努力しなければならないというプレッシャーが常にありました。でも、大学でこんなことをしたい、卒業したらこんなふうに働きたい、という想像をすると頑張ることができました。また、周りからの励ましはとても力になりました。家族、友達、先生方、たくさんの人たちに感謝しています。在校生の皆さんも、自分の夢に向かって頑張ってください。辛い時も、周りの人とお互いに励まし合っていけばきっと大丈夫です。

東北芸術工科大学　芸術学部　美術科　洋画コース

美術系の大学に入るには、描く技術が少なからず必要です。学科だけで入れるという科もありますが、技術があるにこしたことはありません。なので、今、少しでも美術系の大学への進学を考えている人は、できるだけ早く、美術の先生に聞きに行く、美大の予備校に通う、美大の受験に関する書籍を読むなど、何かしら受験についての情報を得るようにしたほうが良いと思います。美大の受験は短期間で対策ができるものではないので、余裕をもって取り組めるようにしたほうが良いです。また、先生方の助言はとてもためになるので、しっかり聞くようにしてください。自分は大学で何をしたいのかを明確にし、その目的を達成できるよう、受験に向けて頑張ってください。

警視庁

私が本格的に公務員試験の勉強を始めたのは、二年生の半ば頃でした。公務員試験は一次試験が 9 月にあるため、大学受験者と同じように過ごしているようではいけませんでした。約 15 の科目が出題されるため、個々の科目を網羅するのは容易ではありません。ですから、これまでの出題傾向から推測し、要点をついた勉強をすることを心がけました。また、公務員専門学校で開催してくださるセミナーでは、学習のポイントやコツを教えていただけて、とても自分の力になります。

公務員試験は多くの面からみて、とてもハイリスクなものです。その重圧を乗り越えることができたのは、同じ夢を目指す仲間の存在があったからだと思います。これから公務員を目指すみなさんも、仲間と助け合い、励まし合って最後まであきらめずに頑張ってください。

東北電力株式会社

私にとっての高校三年間は、長いようでとても短いものでした。特に三年生の 1 年間は部活を引退した余韻に浸る間もなく、すぐに就職活動の準備が始まったので、部活から就職活動に頭を切り替えるのが大変でした。

しかし、周りの友達、部活動の仲間、そして何よりお世話になった先生方が、いつも応援してくれていて、みんなの期待に応えたいと、心から思いました。そのおかげで毎日の勉強や面接練習、作文練習も、全く苦にはならず、とても充実した日々を送ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

この三年間で学んだことは、数え切れないほどたくさんあります。それを仕事にもしっかりと活かし、精一杯頑張っていきたいです。本当にありがとうございました。

本年度で退職される岡田先生より

卒業生の皆さんへ

岡田　重光

あっという間の 3 年間だったのではないでしょうか。私も退職を秒読みにしたこの 3 年間は、今振り返れば、あっという間でした。

「卒業」は、「退職」と違って、新たな出発というイメージが強い、大変羨ましいニュアンスがあります。皆さんはまだ、18 歳ですし、夢も希望も沢山あるでしょう。しっかりやっていってください。

「夢」や「希望」というと、現時点より何かもっと先のことのように思われがちですが、私は、夢も希望も現在の一歩一歩の積み重ねのように思います。自分の仕事も、結局は社会の「穴」を埋めるようなもの。誰にでも埋められることだが、現実に自分の目の前に「穴」があれば、自分自身が埋めていくしかない。それが仕事だと思っています。目の前の「穴」を横目でながめながら、遠くにやり甲斐を探し求めるのは、チルチル、ミチルになってしまいませんか。

「今」をしっかり歩んでいきましょう。

振り込め詐欺等被害防止　寸劇（演劇部）

2 月 21 日(土)、酒田市浜田コミセンにて、本校演劇部員が、酒田警察署からの依頼を受け、振り込め詐欺被害防止を訴える寸劇を行ってきました。

酒田警察署からいただいた台本をもとに、地域の方にもわかりやすいように、台詞を全て庄内弁に書き換えたり、「ATM」を「お金を出し入れする機械」などのように言い換えたりして、2 月はじめから練習を重ねてきました。

会場一杯に集まった、地域ボランティア(見守り隊)の方などの前で、「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証詐欺」「還付金詐欺」の 4 つの寸劇を行い、被害防止を訴えました。

普段の言葉での親しみやすい演技に、会場からはたくさんの拍手をいただきました。

公演の様子

この一年のいろいろ

本校のホームページアドレス　http://www.sakatanishi-h.ed.jp/